

変化する出版業界：グジャラートの事例
井坂 理穂
2011年10月16日 FINDAS研究会

独立後の出版業界
・出版、流通、販売
・小規模の出版社
・言語別の出版タイトル数、統計の問題
* Delivery of Books Act, 1954
・教育機関、図書館などへの依存 * 識字率、購買力、国の政策
・教科書 政府系機関の管轄
・英語出版物の輸入
・外資規制
・組織化
Federation of Publishers and Booksellers Association of India, Federation of Indian Publishers * book fairの開催

大手出版社：
Gurjar(1928), Navbharat(1963), R. R. Sheth(1926)
・歴史 ナショナルリズム
・経営
・出版、販売 (印刷)
・方針、ジャンル、タイトル数

バイリンガリズム
・英語の教育水準、「仕事」のための英語
・政府の言語政策
Society for the Creation of Opportunities through Proficiency in English (SCOPE)
若者の雇用促進のための実用英語
・娯楽におけるグジャラティー語、ヒンディー語
* 海外のグジャラティー語移民、エリートの間でのグジャラティー語、文学への関心
* 'chutneyfying' → 英語、グジャラティー語への影響、さらにヒンディー語の関わり方

(1) 'Books without Borders'
「本の歴史」研究 Robert Damton, Roger Charrier...
植民地期インドの出版文化に関する研究
Francesca Orsini, Anindita Ghosh, Ulrike Stark,
Rimi Chatterjee, Priya Joshi, Abhijit Gupta...
前提となってきた「境界」の見直し

現在の変化 Vinutha Mallya の研究より
タイトル数：90,000
出版社数：19,000
本のタイトル数では第6位
英語書籍では第3位
選択の多様化、出版業界の成長、翻訳の発展、販売部門の成長、Digital, e-bookへの注目、著作権への関心、インドへの委託、印刷・出版物の輸出拡大、若年層人口と読者層の拡大
* 外資系の参入、提携の動き

現在の戦略
・広報、出版記念イベント、広報誌、メール、携帯、インターネット
・「売れる」本、翻訳、e-book
・販売形態：インターネット、権限への依存低下、個人市場の重要性、大型書籍店
* Crosswordの例
・政府との関係 Vancho Gujarati運動
* 読者の奨励、book fairの組織、カタログ 大手出版社の優位
・農村部の購買者層
小規模出版社の場合
ジャンルの特化、価格、ローカルな需要

出版業界における言語間、ローカル・グローバル間の相互浸透、提携の進展
英語出版社によるグジャラティー語、バイリンガル出版
グジャラティー語出版社による英語出版、バイリンガル出版
* 子ども向けの絵本の例
ローカルな需要
海外グジャラティー語移民の購買層
他社(他言語)との提携
インターネット、出版社間の提携、市場の融合

(2) 「インド的」発展？
Robin Jeffrey, *India's Newspaper Revolution: Capitalism, Politics and the Indian-language Press 1977-99* (Delhi: Oxford University Press, 2000)
* 多言語、識字率、ローカルな需要
Hinguish, Indian English Literature に関する研究
Bilingual Intellectuals, linguistic states に関する議論

グジャラティー語出版史
植民地期 ボンベイ、アムダーヴァード
ナショナルリズムと出版 * Navajivan
グジャラート州成立(1960年)
→ 教育機関の増加、アムダーヴァードの重要性
* Gandhi Road
組織化: Gujarat Prakashak Mandal (2005-)
* GSPVM
* ティスカウントの不統一

翻訳
翻訳という概念？
* Rita Kothariの研究
'the indiscipline of translation'
何が訳されているのか？
どのように訳され、出版されているのか？
* 価格、装丁、即時性
* 翻訳の例
* 全国的な流行、ローカルな需要
* 娯楽性、ヒンディー映画・テレビとの関連
「全インド的な」ベストセラーの可能性